

平成 26 年度第 1 回 化学教育 FD/ICT 活用研究委員会議事録

I. 日時平成 26 年 6 月 14 日（土）11:00～13:00

II. 場所私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 堀合委員長、及川副委員長(NET 参加)、小林副委員長、幅田委員、庄野委員
(事務局) 井端事務局長、森下

IV.資料

資料① 平成 26 年度 化学教育 FD/ICT 活用研究委員会の活動計画

資料② 対話集会に関する検討事項（メモ）

その他資料 公益社会法人私立大学情報教育協会 平成 26 年度事業計画

参考① 用語集

参考② アクティブラーニング事例集 1 長崎大学 大学教育機能開発センター

参考③ 付表 1 国内大学におけるアクティブラーニングの組織的実践事例 (1)

長崎大学 大学教育機能開発センター紀要 第 3 号

参考④ 記事「双方向型授業」読売新聞情報

参考⑤ 記事「学び改革 急ピッチ」学長アンケート 日経新聞情報

参考⑥ 記事「大学 1 年生 難題で覚醒」主体的に学ぶ姿勢を養う 日経新聞情報

その他 実践事例紹介 「環境・生活と化学」その他

平成 25 年度委員名簿

V.議事内容

ネット講義 (MOOC 関連) (新聞情報)

1. 26 年度の化学教育 FD/ICT 活用研究委員会の活動計画として、教育の質的転換に向けた教育改善を促進するために、ITC を活用した**能動的学修** (アクティブ・ラーニング) を実現するための一歩として昨年度課題として決めた対話集会の実現について話し合われた。

(ア) 対話集会はできるだけ早く開催する。

(イ) 会場の設定：都内の大学で 100 人程度を収容できる会場を無料で提供していただける場所を探す。この件は委員の所属大学開催可能か問い合わせ決定することとした。

(ロ) 対話集会での事例紹介は、実戦経験がある及川副委員長・木村委員にお願いすることになった。

(ハ) 対話集会の開催時間は約 2 時間を考える。

(ニ) 対話集会の案内は、今月中に関係団体・先生に通知する。

(ホ) 通知する関係団体・先生には、予めアクティブ・ラーニングについてご理解いただいたうえで参加していただくために

本協会のビデオ・オンデマンド配信事業の「主体性を育む授業とは」安西祐一郎先生の VTR を閲覧していただく。

2.今後の研究の進め方について

フリーディスカッションの結果を交えて、本年 9 月 27 日（土）の対話集会開催のために、第二回の委員会を 7 月 5 日（11:00～）に開催することとした。

3.その他 対話集会の結果を踏まえて、今後の委員会の活動方針を定めることとした。